

科目名	RTW技術	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターコースデザイン専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	210	作成者	林和子

【科目の到達目標】

既製服のデザイン・縫製の一貫した知識と技術を持った人材の育成。

【科目の概要】

素材の多様化、縫製機器の発達に伴い、デザイナーにとって新しい素材、機器に通じていることはとても重要である。創新しい縫い方や異素材を取り入れ、縫製工程を分析し、作品を仕上げることによって既製服縫製のテクニックの修得を目指す。

デザイン、製図、シルエットチェック、仕様書、工業用パターン作成、縫製の実習。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1・2	●プレタ展作品	61・62・63 ●上田学園コレクション作品
3・4		64・65・66
5・6		67・68・69
7・8		70・71・72
9・10		73・74・75
11・12		76・77・78
13・14		79・80・81
15・16		82・83・84
17・18		85・86・87
19・20		88・89・90
21・22		91・92・93
23・24		94・95・96 ●各専攻課題縫製
25・26		97・98・99
27・28		100・101・102
29・30	●テーラードジャケット	103・104・105
31・32		
33・34		
35・36		
37・38		
39・40		
41・42		
43・44		
45・46		
47・48		
49・50	●脇ゴム入リスカート	
51・52		
53・54		
55・56		
57・58		
59・60	●革/ベルベットの縫製方法	

【成績評価方法】

課題作品 10点の評価60 %、 期末試験 30% 授業態度 10 %

【教科書・参考書】

上田安子『縫い方全書』服飾手帖社 改訂版

『スカート、ブラウス、ワンピース、ジャケット、テーラリングテクニック』上田安子服飾専門学校 最新版

【教材・教具】

縫製用具、実寸製図用具・トワール・シルクピン・メジャー・筆記用具・裁断はさみ等

科目名	パターンメイキングⅢ-A	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ファッションクリエイターコースデザイン専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60	作成者	上田安子パターン担当
【科目の到達目標】 ドレーピングによる衣服の立体的な把握と、基本パターンから各種デザインパターンへの理論的な展開方法を学び、新しさを兼ね備えた商品作りのためのトワールを作成できる人材になるよう技術を習得する			
【科目の概要】 平面製図、CADなどパターンメイキングの手法が多様化する中で、素材の特性を感じながら実際にデザインをボディ上で形にする経験はとても重要である。各種デザインパターンへの理論的に展開し、トワールチェック後、ファーストパターン作成までの時間短縮に努める。サイズ展開の基本をグレーディング実習により体験する。			
【授業計画】 90分/コマ			
1	1本ダーツ・2本ダーツスカート・サーキュラスカートの中から1型選び原型ひく パターン作成		
2	創作スカート パターン作成・トワール作成・縫製指示書作成		
3・4	創作スカート トワールチェック・マスターパターン修正・ファーストパターン作成・縫製仕様書作成		
5・6	創作子供服 デザイン出し・パターン作成・縫製指示書作成		
7・8	創作子供服 トワール組み立てチェック・補正・フルパターン作成・縫製仕様書作成		
9・10	ジャケット(4面体プリンセスライン・テーラードカラー・2枚袖) パターン作成・トワール作成・縫製指示書作成		
11・12	ジャケット(4面体プリンセスライン・テーラードカラー・2枚袖) トワールチェック・マスターパターン修正・ファーストパターン作成		
13・14	ジャケット(4面体プリンセスライン・テーラードカラー・2枚袖) 表襟・見返し展開パターン作成・縫い代付きパターン・縫製仕様書作成		
15・16	メンズジャケット・創作デザイン マスターパターントレース・デザイン展開・パターン作成・トワール作成・縫製指示書作成		
17・18	メンズジャケット・創作デザイン トワール組み立てチェック・縫製仕様書作成		
19・20・21	グレーディング 概論・スカート・身頃		
22	創作デザイン・トータルコーディネート デザイン出し・パターン作成・縫製仕様書作成		
23・24	創作デザイン・トータルコーディネート パターン作成・トワール組み立て		
25・26	創作デザイン・トータルコーディネート トワール組み立てチェック・補正		
27・28	創作デザイン・トータルコーディネート 補正・フルパターン作成		
29	創作デザイン・トータルコーディネート 補正・フルパターン作成・縫製仕様書作成		
30	前期試験		
【成績評価方法】 提出物評価60% テスト30% 授業態度10%			
【教科書・参考書】 山路俊美「図解・紳士服の型紙の作り方」 相尾純子「パターングレーディング」			
【教材・教具】 製図用具一式 トワール組用具一式			

科目名	ドレーピングⅡ-A		整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科		期	後期
コース	ファッションクリエイターコースデザイン専攻			昼間
学年	3年		授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60		作成者	尾崎光恵
【科目の到達目標】 専攻に応じてレディス・キッズ・メンズのそれぞれの体型を理解し、フィッティング出来るようになる。 地の目を正しく通し、人体の凹凸に合わせ、基本的なアイテムのシルエットを形作ることが出来る。 ドレーピングで作られた布地の形を平らにのばし、平面パターンに作り変えることが出来る。				
【科目の概要】 シルエットを読み取る、ボディに基準となるテープを正しくマークする、トワールの見積、 トワールに必要な基本線を正しく引く、地の目を正しい位置に通す 以上を理解し、これらを修得。 ブラウス・ジャケット・コート等のアイテムを通して、基本的なドレーピングの技法とデザイン表現を学ぶ。 パターンの基本的なチェック方法も合わせて学ぶ。				
【授業計画】 90分/コマ				
	デザイン・パターン専攻		キッズ専攻	メンズ専攻
1・2	課題1 基本を復習 それぞれのボディで身頃のドレーピング		2面体	
3・4 5・6 7・8	課題2 パネルライン(ショルダー・プリンセス)のある4面体ジャケット (ショールカラー・1枚袖)			
9・10 11・12 13・14	課題3 テーラードカラーの3面体ジャケット (1枚袖から2枚袖)			
15・16 17・18 19・20	課題4 ギャザーの入った ラグラン袖のブラウス	課題4 ギャザーの入ったラグラン袖の ワンピースorブラウスorコート	課題4 ラグラン袖のコート	
21・22 23・24	課題5 ビスチェ	課題5 パンツ		
25・26 27・28	課題6 イブニングドレス	課題6 写真からセレクトしたフォーマルウェア		
29・30	試験			
【成績評価方法】 提出物評価60% テスト30% 授業態度10%				
【教科書・参考書】 『ドレーピングⅠ』上田安子服飾研究所 2024年3月 『立体式』				
【教材・教具】 ボディ(レディス、キッズ、メンズ)、トワール、シルクピン、ピンクション(手首に装着出来るもの) はさみ(裁断はさみ、小型はさみ)、肩パッド、胸パッド、05cm黒綿テープ、 髷糸、メリケン針、指ぬき、実寸用製図用具、筆記用具、模造紙 ※1.0～1.5cm幅の接着面テープ				

科目名	ファッションドローイングⅢ-A	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターコースデザイン専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	60	作成者	大槻 剛

【科目の到達目標】

1年間終了時に、アパレルやコスチューム業界への就職対応のドローイング表現ができる。

【科目の概要】

アパレルやコスチューム業界で絶対必要なデザイン画を描く授業です。授業内容は、教科書や配布するプリントを使用し、そして黒板を使って重要ポイントを説明します。その後、各学生がデザイン画表現を行います。製作するデザイン画は、鉛筆描きや画材を使用しての着色など様々な表現を学びます。

【授業計画 90分/コマ】	前期		後期
1・2	ヌードボディの表現	16	画材表現 3(パステルの使い方)
3・4	顔、ヘアスタイル、足、靴の表現	17・18	アイテム画の表現 1(ボトムス)
5・6	着装表現 1(男性的ディテール表現)	19・20	アイテム画の表現 2(トップス)
7・8	着装表現 2(女性的ディテール表現)	21・22	メンズ表現
9・10	着装表現 3(その他の応用表現)	23・24	キッズ表現
11・12	画材表現 1(ガッシュの使い方)	25・26	デザイン画選手権の作品製作 1(ラフ)
13・14	画材表現 2(マーカーの使い方)	27・28	デザイン画選手権の作品製作 2(下絵)
15	画材表現 3(パステルの使い方)	29・30	デザイン画選手権の作品製作 3(着色)

【成績評価方法】

課題作品の評価 60%、期末試験 30%、授業態度 10%

【教科書・参考書】

立嶋滋樹著『Creation Drawing』服飾手帖社2009年、高村是州著『ファッションデザインテクニック』グラフィック社2005年
NANCY RIEGELMAN著『COLORS FOR MODERN FASHION』NINE HEADS MEDIA

【教材・教具】

ケント紙、ドローイングペン、着色画材など

科目名	ファッションドローイングⅢ-B	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターコースデザイン専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	60	作成者	松岡葵

【科目の到達目標】

年間終了時に、アパレルやコスチューム業界への就職対応な幅広く柔軟なドローイング表現ができる。

【科目の概要】

アパレルやコスチューム業界で絶対必要なデザイン画を描く授業です。授業内容は、教科書や配布するプリントを使用し、そして板書を使って重要ポイントを説明します。その後、各学生がデザイン画表現を行います。

製作するデザイン画は、鉛筆描きや画材を使用しての着色など様々な表現を学びます。

【授業計画 90分/コマ		前期	後期
1	ヌードボディ、顔、ヘアスタイル表現①	16	世界のアーティストから学ぶ技法①
2	ヌードボディ、顔、ヘアスタイル表現②	17	世界のアーティストから学ぶ技法②
3	ストロークと着装表現①	18	世界のアーティストから学ぶ技法③
4	ストロークと着装表現②	19	制限ドローイング①
5	視線誘導を意識した表現①	20	制限ドローイング②
6	視線誘導を意識した表現②	21	制限ドローイング③
7	シルエット研究①	22	トータルコーディネート表現①
8	シルエット研究②	23	トータルコーディネート表現②
9	色の配置テクニック①	24	トータルコーディネート表現③
10	色の配置テクニック②	25	アイテム画表現
11	デザイン画作品制作①	26	グループワーク①
12	デザイン画作品制作②	27	グループワーク②
13	デザイン画作品制作③	28	グループワーク③
14	デザイン画作品制作④	29	グループワーク④
15	前期末テスト	30	後期末テスト

【成績評価方法】

課題作品の評価 60%、期末試験 30%、授業態度 10%

【教科書・参考書】

立嶋滋樹著『Creation Drawing』服飾手帖社2009年、高村是州著『ファッションデザインテクニック』グラフィック

【教材・教具】

ケント紙、ドローイングペン、着色画材など

科目名	ファッションデザイン論Ⅲ-A	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターコースデザイン専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 35 % 実習 65 %
時間数	60	作成者	林和子

【科目の到達目標】

多様化するファッション業界の現状とマーケットのあり方を分析し、アパレル企画を立案する。
合わせて、分析力・発想力・表現力・計画性などを身につける。

【科目の概要】

1・2年次に学んだ基礎知識をもとに、新たな情報やトレンドなどをプラスして企画を立案する。

【授業計画】 90分/コマ	前期		後期
1	アパレル業界概要と就職指導	16	上田学園コレクション企画
2	コンテスト応募1	17	デザイン発想1 演習1
3	コンテスト応募2	18	デザイン発想1 演習2
4	コンテスト応募3	19	デザイン発想1 演習3
5	ブランド企画1	20	プレゼンテーション発表
6	ブランド企画2	21	デザイン発想2 演習1
7	ブランド企画3	22	デザイン発想2 演習2
8	ブランド企画4	23	デザイン発想2 演習3
9	ブランド企画5	24	プレゼンテーション発表
10	企画プレゼンテーション発表	25	デザイン発想3 演習1
11	ポートフォリオ作成1	26	デザイン発想3 演習2
12	ポートフォリオ作成2	27	デザイン発想3 演習3
13	ポートフォリオ作成3	28	プレゼンテーション発表
14	上田学園コレクション企画	29	課題 まとめ
15	試験	30	試験

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

『スタイリングブック』 高村 是州グラフィック社 (1993/4/1) プリントを配布

【教材・教具】

筆記用具 描画用具 PC

科目名	ファッションデザイン論Ⅲ-B	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターコースデザイン専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 70% 実習 30 %
時間数	120	作成者	本川 晴美

【科目の到達目標】

分析力・考察力をもって研究することの重要性と、それがデザイン発想の核にできるプロセスの習得。

【科目の概要】

服の哲学～技術面を深掘り、その研究内容を核にデザイン発想を展開する。
そして、ファッションデザインの世界観をブランド企画やコレクションを想定するところまでを
プレゼンテーションできるポートフォリオを作成する。

【授業計画】

前期		後期	
90分/コマ			
1,2	デザイン理解ワーク	31,32	デザイン理解ワーク
3,4	デザイン理解ワーク	33,34	デザイン理解ワーク
5,6	デザイン理解ワーク	35,36	デザイン理解ワーク
7,8	構造デッサン	37,38	構造デッサン
9,10	構造デッサン	39,40	構造デッサン
11,12	構築ワーク	41,42	ムードボード作成
13,14	構築ワーク	43,44	ムードボード作成
15,16	構築ワーク	45,46	ムードボード作成
17,18	構築ワーク	47,48	デザイン展開
19,20	構築ワーク	49,50	デザイン展開
21,22	撮影	51,52	デザイン展開
23,24	ポートフォリオ作成	53,54	ポートフォリオ作成
25,26	ポートフォリオ作成	55,56	ポートフォリオ作成
27,28	ポートフォリオ作成	57,58	ポートフォリオ作成
29,30	プレゼン発表	59,60	プレゼン発表・試験

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

科目名	コンピュータ演習Ⅲ-B	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターコースデザイン専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60	作成者	佐山 孝典

【科目の到達目標】

アパレル市場におけるECサイトの構造を理解し、商品プロモーション、販売における必要なデータ作成と初歩的なECサイトの立ち上げ方法を学ぶ。

【科目の概要】

現在のアパレル市場におけるECサイトの構築は必須事項である。
これらECサイトの内容は、会社概要、商品プロモーション、販売など多岐にわたるが、当該授業では各自で企画した商品を販売する仮想のECサイトを立ち上げる演習を行う。

【授業計画】

前期 90分/コマ		後期	
1	ECサイトの構造とコンテンツの解説	16	サイト立上げの振り返り
2	商品企画 1-1	17	商品企画 2-1
3	商品企画 1-2	18	商品企画 2-2
4	商品企画 1-3	19	商品企画 2-3
5	商品企画 1-4	20	商品企画 2-4
6	商品企画 1-5	21	商品企画 2-5
7	サイト立上げ演習	22	サイト立上げ準備
8	データ作成とアップロード 1-1	23	データ作成とアップロード 2-1
9	データ作成とアップロード 1-2	24	データ作成とアップロード 2-2
10	データ作成とアップロード 1-3	25	データ作成とアップロード 2-3
11	データ作成とアップロード 1-4	26	データ作成とアップロード 2-4
12	データ作成とアップロード 1-5	27	データ作成とアップロード 2-5
13	サイト動作チェック	28	動作チェック
14	企画のプレゼン発表	29	企画のプレゼン発表
15	試験	30	試験

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

データをPDF等で配布

【教材・教具】

PC、タブレット端末、筆記用具 など

科目名	ファッションビジネス論Ⅲ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターコースデザイン専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 50 % 実習 50%
時間数	30	作成者	新家章秀

【科目の到達目標】

将来アパレル業界での活躍を目指す方が、実務に即した**「ファッションビジネスの基礎知識」を習得し、それを活用して「人を動かせる提案力」**を身につけることを目的とします。・前期：ショップリサーチを通じて、業界の専門用語や売れる仕組みの基礎を学び、既存ブランドの業務改善案を構築します。・後期：前期の知識を土台に、マーケティングと経営的な視点（市場診断や差別化戦略）を取り入れ、新しいマーケットを発掘して新ブランドを企画・提案する力を養います。

【科目の概要】

講義を通じ、単なる知識の暗記ではなく、実際の店舗観察（ショップリサーチ）とデータ分析を繰り返します。VMDやSKUといった現場視点の基礎を固め、SWOT分析やポジショニングマップを用いた戦略視点でのビジネス構築を学びます。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 業務フロー
- 2 ビジネス・マーケティング基礎
- 3 業種と業態（SPA・セレクト）
- 4 店舗の広さとSKU管理
- 5 マーケティング・ミックス（4P）
- 6 売れる店づくり：VMDの基本
- 7 レイアウトと導線設計
- 8 オムニチャネルとCX
- 9 顧客分析（RFM分析）
- 10 異業種事例①：瞬足・新政酒造
- 11 異業種事例②：DXランドリー
- 12 希少価値とキャリア設計
- 13 プレゼン構成術（前期）
- 14 前期プレゼンテーション
- 15 前期フィードバック

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

前期・後期にそれぞれ4回の提出物とプレゼンの評価。加えて授業態度にて評価します。

【教科書・参考書】

1ヶ月以内に起きたファッションビジネスに関連する事例をもとに、それぞれのテーマで、まとめて配布します。『サンクス先生のファッションビジネスの授業（WEBテキスト）』『これだけは知ってほしいファッションビジネスの教科書（電子書籍）』など

【教材・教具】

プリントを配布。パソコン・Google クラスルーム、スライド。

科目名	縫製工学	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ファッションクリエイターコースデザイン専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 80% 小テスト 20%
時間数	30	作成者	相馬成男

【科目の到達目標】

アパレル製品の企画・設計、工業生産（縫製・プレス）、出荷に至る各工程では、デザイナー、マーチャンダイザー、パタンナー、縫製担当者、生産管理者、品質管理者など多くの専門技術者・技能者が携わっており、それぞれの業務の基礎知識と技術、もの作りに対する考え方が理解できる人材育成を目指し、社会へ出て自分を取り巻く関係者と円滑に意思疎通が図れることができることを目標とする。

【科目の概要】

専門学校では注文服（オートクチュール）作りを主体に履修するが、社会へ出ると既製服（プレタポルテ）が主流であり、工業生産的もの作りの道理、実務工程の知識を習得し、自分を取り巻く関係者と円滑に意思疎通が図れる技術者を養成するため、アパレル業・縫製加工業の役割、繊維製品の品質に関わる法律、JIS衣料サイズ、表素材・副資材の品質管理、工業パターン設計方法、縫製加工、生産工程管理・品質管理と原価計算を修得する。

【授業計画】 90分/コマ

- 第1週 ・縫製工学とは ・アパレル業と縫製加工業（Ⅰ）
- 第2週 ・アパレル業と縫製加工業（Ⅱ） ・衣服の品質に関わる法律（Ⅰ）
- 第3週 ・衣服の品質に関わる法律（Ⅱ）
- 第4週 ・JIS衣料サイズ
- 第5週 ・衣服の品質（Ⅰ）
- 第6週 ・衣服の品質（Ⅱ） ・原反検査（Ⅰ）
- 第7週 ・原反検査（Ⅱ）
- 第8週 ・副資材と付属品・・・芯地、接着芯地
- 第9週 ・副資材と付属品・・・裏地、縫い糸、ボタン、ファスナー、中入れ綿
- 第10週 ・工業用パターンと縫製仕様書 ・グレーディング
- 第11週 ・縫製準備工程
- 第12週 ・縫い目形式、工業用ミシン・縫合、工業用ミシン針
- 第13週 ・アイロン ・プレス
- 第14週 ・縫製工程の管理・・・生産システム、縫製工程表
- 第15週 ・縫製工程の管理・・・品質管理、原価計算

【成績評価方法】

- ・平常点（出席率、授業態度）・・・10%
- ・理解力（毎回の小テスト）・・・50%
- ・理解力（期末試験）・・・40%

【教科書・参考書】

- ・『縫製工学』齋藤景一郎著 2版 上田学園服飾手帖社2015年3月1日発行

【教材・教具】

- ・教科書（適宜配布資料）
- ・筆記具

科目名	西洋美術史	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターコースデザイン専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 60% 演習 40 %
時間数	30	作成者	福田新之助

【科目の到達目標】

西洋美術史を学ぶことによって、国々の歴史・風土・民族・宗教や考え方を知り、日本との違いを把握できるようになる。そのうえで、ファッションビジネス界に対応出来る人としての基礎的教養の基盤形成を目標とする。

【科目の概要】

紀元前より1900年代まで、歴史の変遷と造形様式、代表的な作品や作家を通じて時代精神を読み取る。また宗教、気候、民族を踏まえながら、その作品の成立意義を知るように授業は進行する。最終的にはアーツ&クラフツ周辺のイギリスと、アールヌーボーや耽美主義に至り、メディアとしてのデザインをお

【授業計画】

90分/コマ

前期

- 1 西洋美術史を学ぶにあたって
- 2 原始美術・メソポタミア・エジプト
- 3 クレタ・ギリシャ美術
- 4 ローマ帝国とビザンティン美術
- 5 中世美術とロマネスク
- 6 ゴシック美術と初期ルネサンス
- 7 北方美術と盛期ルネサンス美術
- 8 マニエリズムとバロック美術Ⅰ
- 9 バロック美術Ⅱとロココ美術
- 10 フランス革命と主義の時代へ
- 11 新古典主義・ロマン主義・写実主義
- 12 印象主義以降
- 13 世紀末芸術
- 14 アーツ アンド クラフツとアールヌーボー
- 15 テスト

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%
短文による理解度の評価

【教科書・参考書】

『西洋美術史』高階秀爾 美術出版社 2002年度版、各時代の関連プリントの配布

【教材・教具】

筆記用具、ノート、作文用紙